

## プレスリリース

2019年8月

### 近代の象徴。



**バウハウス創設 100 周年記念 マックス・ビル クロノスコープ Ltd1000 は  
バウハウスの哲学を現代に表現しています。**

100 年前に創立されたバウハウスは今日にいたるまでアバンギャルドなデザインの代名詞になっています。この革新的な芸術学校では、画期的なデザイン手法が実現しています。バウハウスのクリエイティブなプロセスにおいて最も重要となったのが「形は機能に従う」という原則でした。この原則をもとに、椅子などの日常的なオブジェから新しい思想の建築にいたるまで、余分なものを極限まで省くという、ミニマリストなデザインが生まれました。 Dessau のバウハウス校で学び、その後も生涯を通じてバウハウスの哲学が中心的な役割を果たしたマックス・ビルが、1961 年からユンハンスのために、まさにこの革新的な芸術学校の基本思想を表現したウォッチ デザインを創り出しました。

問い合わせ先  
ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川  
101-0042 千代田区神田東松下町 30 番地 TKビル 4F  
Tel: 03-5295-0411 Email: info-ep@europassion.co.jp



バウハウス創立 100 周年を記念して、マックス・ビル クロノスコープ Ltd1000 が 1,000 本限定版で発売されます。この記念すべき時計はマックス・ビルのオリジナルデザインをベースにしており、デザインにはバウハウス校舎に見られるバウハウスの典型的な要素が取り入れられています。例えば赤い日付表示と針はデッサウ校の有名な赤いエントランスを表現しています。ケースバックにはバウハウス校の建物がプリントされ、建物の窓を通してムーブメントを覗き見ることができます。グレーとアンスラサイト色(無煙炭)のストラップとケースが、明るいダイヤルと強烈なコントラストを出しています。光と影の相互作用はデッサウのバウハウス校の窓で演じられたコントラストです。

バウハウス創立 100 周年を記念 マックス・ビル クロノスコープ Ltd1000 – 近代を象徴するミニマリズムの作品です。

  
**JUNGHANS**  
GERMANY. SINCE 1861

**マックス・ビル クロノスコープ Ltd1000  
仕様**



027 4902 02

予価(税抜)¥290,000

限定:1000本、10月発売予定

- ムーブメント:** 自動巻ムーブメント J880.2、48 時間パワーリザーブ、日付表示
- 機能:** クロノグラフ、30 分および 12 時間積算計
- ケース:** ステンレススチール PVD 加工アンスラサイト(無煙炭)マット仕上げ、直径 40.0 mm、厚さ 14.4 mm、バウハウスの校舎が印刷され部分的にムーブメントが見えるミネラルクリスタル シースルーバック
- 風防 :** 両面無反射加工ドーム型サファイアクリスタル
- ダイヤル:** マットホワイト仕上げのダイヤル、ルミナスドット
- 針 :** 環境にやさしいスーパールミノバ付き針
- ストラップ:** PVD 加工尾錠付きグレー カーフストラップ
- 防水性:** 3 気圧
- 特徴:** レッドのルミナス加工デイト表示

問い合わせ先  
ユーロパッション株式会社 マーケティング部 広報 石川  
101-0042 千代田区神田東松下町 30 番地 TKビル 4F  
Tell: 03-5295-0411 Email: info-ep@europassion.co.jp

## Junghans – Live your style

150 年以上にわたり、ユンハンスは「時」にかたちを与えてきました。細部への徹底したこだわり、ハイレベルのデザインを追求する姿勢、すぐれた品質、そして何世代にもわたって蓄積されてきたテクノロジーのノウハウが 1861 年の創業以来、ユンハンスの時計を特徴づけています。ドイツ南西部シュヴァルツヴァルトのシュランベルクに本社を構えるユンハンスのサクセスストーリーはまさにそうした価値観を基礎にしているのです。すでに 1903 年に、ユンハンスは 3000 人以上の従業員を抱える世界最大の時計メーカーでした。精密なムーブメントの開発によって、1951 年にはドイツ最大の、そして 1956 年には世界第 3 位のクロノメーターメーカーとなりました。1972 年に開催されたミュンヘン・オリンピックでは公式タイムキーパーを務め、時間計測の分野で新基準を打ち立てました。そして波瀾に満ちた激動の歴史を経て、2009 年にはシュランベルクの実業家ハンス＝ヨッヘム・シュタイム、ハネス・シュタイムが経営を引き受け、新たな成長の時代に入っています。ユンハンスは現在でもなお全時計製品を、歴史ある本社内で製造しています。2018 年には本社にあるテラス式建物が 100 周年を迎え、新たな息吹を与えられました。長年にわたり、ユンハンスの時計製造の心臓部として光輝いてきたこの産業用建築の記念碑的な建物がシュヴァルツヴァルトにおける時計製造の伝統を体験できるミュージアムになりました。最新コレクションにも、ユンハンスのデザインおよび時計製造の長い伝統が活かされ、現代にふさわしい形で取り入れられていることがわかります。1930 年代以来製造されているマイスターコレクションやマックス・ビルルのタイムピースはその好例です。1956 年にスイス人デザイナー、マックス・ビルと共同でデザインされたクラシックなバウハウス、マックス・ビルコレクションは、今日も当初のデザインとほとんど変わらない形で製造されています。1990 年にはユンハンスは初の電波腕時計を発明し、新基準を打ち立てました。2018 年、新世代のインテリジェント電波式ムーブメントを開発し、優れた精度と正確性によってこのテクノロジーが新たに注目を集めています。ユンハンスの時計のクリアなデザイン言語は、社の歴史に一貫して息づいています。最も新しいところでは、無駄を省いたシンプルな表現の FORM コレクションがその例で、スタイリッシュなモデルにそうしたデザイン言語があらわれています。その洗練された完璧なデザインによって、ユンハンス時計は 150 年以上にわたり、時計製造とデザインの見事な融合を実現しています。